

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587036904	科目番号 / Subject code	05870369
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12311_006		
授業科目名 / Subject	教育と社会 (教育相談)COC+ / Educational Counseling		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田山 淳 / Tayama Jiyun, 小川 さやか, BERNICK PETER JOHN / Bernick Peter John		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	田山 淳 / Tayama Jiyun		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	田山 淳 / Tayama Jiyun, 小川 さやか, BERNICK PETER JOHN / Bernick Peter John, 矢内 希 梨子 / Kiriko Yanai		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Target students	2年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jtayama nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	本授業では、教育相談の理論や歴史を中心とした基礎的知識を学習する。基礎的知識に加え、教育 現場等で必要な相談に関する技法をいくつか学習する。		
授業到達目標/Course goals	個々の児童・生徒の悩みに対応できる知識とスキルを身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 毎回の授業開始時と授業終了時におけるレポート作成 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	1) 試験の結果30% 2) レポート・提出物40% 3) 出席および授業態度30%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	教育相談、来談者中心カウンセリング、行動療法・行動カウンセリング、長崎県の相談窓口		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	<教科書> ・授業内で配布するプリントを利用する。 <参考書> ・よくわかる教育相談 ?やわらかアカデミズム・わかるシリーズ?: 春日井 敏之 (編集), 伊藤 美 奈子 (編集), ミネルヴァ書房, 2011 ・図で理解する生徒指導・教育相談: 佐々木 雄二 (著)・笠井仁 (著), 福村出版, 2010 ・教育相談・学校精神保健の基礎知識: 大芦 治 (著), ナカニシヤ出版, 2008 ・相談活動に生かせる15の心理技法: 「月刊学校教育相談」編集部 (編集), ほんの森出版, 2004 ・教育相談?教師教育テキストシリーズ?: 広木 克行 (編集), 学文社, 2008 ・教育相談の理論と実際?よりよい教育実践をめざして: 河村 茂雄, 図書文化社, 2012 ・教育相談入門 ?こころの科学叢書?: 高野久美子, 日本評論社, 2012		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks(URL)	地域課題と関連して、長崎県・市の教育相談窓口についても概観する。	
学生へのメッセージ/Message for students	授業理解度の自己評価を導入している関係上、毎回レポートを提出して頂きます。ご意見・ご質問などはメールでお願いいたします。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	教育相談の歴史と意義	A B C D
第2回	学校における教育相談体制と相談の進め方	A B C D
第3回	児童・生徒の発達に応じた教育相談	A B C D
第4回	児童・生徒が抱える心の問題の種類	A B C D
第5回	心の問題を明らかにする方法(1)	A B C D
第6回	心の問題を明らかにする方法(2)	A B C D
第7回	来談者中心カウンセリングについて(1)	A B C D
第8回	来談者中心カウンセリングについて(2)	A B C D
第9回	行動療法・行動カウンセリングについて(1)	A B C D
第10回	行動療法・行動カウンセリングについて(2)	A B C D
第11回	グループエンカウンターについて	A B C D
第12回	心理教育について	A B C D
第13回	保護者への教育相談	A B C D
第14回	各種関係機関との連携	A B C D
第15回	総括	A B C D
第16回	テスト	A B C D

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/26		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587037702	科目番号 / Subject code	05870377
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12341_005		
授業科目名 / Subject	教育と社会 (身のまわりの科学) / Science in Daily Life		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 登 / Fujimoto Noboru, 田山 淳 / Tayama Jiyun, 鎌田 英一郎 / Eiichiro Kamada		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 登 / Fujimoto Noboru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 登 / Fujimoto Noboru, 鎌田 英一郎 / Eiichiro Kamada		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館3F第32講義室 / Room 32		
対象学生 (クラス等) / Target students	医学部・歯学部・工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	n-fuji nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教育学部技術美術教棟115室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2360		
担当教員オフィスアワー/Office hours	8:00?8:45及び昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	私たちの生活に潜む問題点を科学的な視点から捉え、自分なりの解決策を考えます。		
授業到達目標/Course goals	自ら生活に潜む問題点を発見し、それを解決するための考え方とスキルを身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	講義時に提示課題の評価 (50%) 最終レポート (30%) 講義中のディスカッション等の貢献度 (20%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	衣食住に関わる日常生活、環境、健康		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	資料は適宜配布するか、LACSに掲載します。 エコロジカル・フットプリント・レポート日本2014:世界自然保護基金ジャパン エネルギー経済統計要覧:省エネルギーセンター、エネルギー白書:経済産業省、環境・循環型社 会・生物多様性白書:環境省など		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.	生活や社会を改善したい、未来のエネルギー社会を考えたい学生		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)	実験があるために受講人数(40人程度)の制限があります		
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	オリエンテーション(概要、ねらい、ルール)、アイスブレイキング 講義:主体的に学ぶには(リスク認知調査含む)
第2回	テーマ:持続可能な社会を目指して!?(エコロジカルフットプリントの概要と政策決定) 宿題として、各自の電力・水・ガス消費量を用いて、エコロジカルフットプリントの算出があります。
第3回	テーマ:リスクから環境や社会を考える?(調査結果の分析と情報認識・伝達)
第4回	テーマ:持続可能な社会を目指して!?(各自のエコロジカルフットプリントから自らの生活を振り返る) 私の生活に潜む問題は?(課題例「未来の原子力と高レベル放射性廃棄物処理」と班編制)
第5回	テーマ:環境問題のトレードオフを考える?②(水、食:バーチャルウォーター) 担当:鎌田英一郎
第6回	テーマ:環境問題のトレードオフを考える?A(水、食:バーチャルウォーター)
第7回	テーマ:環境問題のトレードオフを考える?②(生物生産の科学技術) 担当:鎌田英一郎
第8回	テーマ:環境問題のトレードオフを考える?A(生物生産の科学技術) 担当:鎌田英一郎
第9回	中間発表・質疑応答:講義4で設定した課題についての発表(各班10分程度) 担当:鎌田英一郎、藤本登
第10回	テーマ:未来のエネルギー社会を考える?②(火力、原子力と再生可能エネルギー)
第11回	テーマ:未来のエネルギー社会を考える?A(原子力と放射線) テーマ:放射線を考える(基礎知識・霧箱実験)
第12回	テーマ:放射線を考える(影響と利用・放射線測定実験)
第13回	テーマ:電気のゴミを考える?(高レベル放射性廃棄物処理とは) 原子力発電環境整備機構:NUMOとのコラボWS
第14回	テーマ:電気のゴミを考える?(高レベル放射性廃棄物処分地選定) 原子力発電環境整備機構:NUMOとのコラボWS
第15回	講義4で設定した課題についての発表(各10分程度)・総合討論

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3ク ォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/20		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587038502	科目番号 / Subject code	05870385
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12361_005		
授業科目名 / Subject	教育と社会 (環境と社会)COC+ / Environment and Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa, 土肥 大次郎 / Dohi Daijirou, 田山 淳 / Tayama Jiyun		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa, 土肥 大次郎 / Dohi Daijirou		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Target students	医学部, 歯学部, 工学部, 環境科学部の学生で「教育と社会」のテーマ (b20) を選択したもの		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hoshino_nagasaki-u.ac.jp (星野), ddohi_nagasaki-u.ac.jp (土肥) (メールを送信する @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教育学部4階 415研究室 (星野) 教育学部6階 608研究室 (土肥)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2332 (星野) 095-819-2306 (土肥)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日以外の昼休み (星野) 火曜2 (土肥)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	環境と社会がどのように関わっているかを環境基本法などで大まかに捉え、具体例として環境要因 がどのように環境や人間等に影響を与えているのかを学習する。また、ドイツおよびネパール等諸 外国の環境と社会との関わりを多角的に調べ、日本の環境と社会との関わりのあるべき姿を探る。 長崎県の環境に関する課題も取り上げ、対策・施策について理解を深める。		
授業到達目標/Course goals	1. 現代社会の中で環境要因がどのように自然環境や生活環境および人間や動植物に影響を与えて いるかを多角的に調べることができる。 2. 自然環境や生活環境および人間や動植物に影響を与えている環境要因が何か。また、どのよう な影響を与えているかを説明することができる。 3. 影響を与えている環境要因に対して社会がどのように対処していけばよいのか。環境と社会と の関わりのあるべき姿について根拠を示して自らの意見を述べるができる。 4. 長崎県の抱える環境に関する課題について例を挙げて説明することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	1回から10回までの評価: 授業中の小テスト、課題レポート、発表、定期考査を行って評価する。評 価割合は、定期考査50%, 授業中の小テスト20%, 課題レポート20%, 発表10%として評 価する。11回から15回までの評価: 授業中の課題レポートや発表等80%, 小テスト20%により 評価する。合格基準は、これらの総合点で60%以上とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	環境問題に関する新聞記事を日頃から気にかけて読んでおくこと。新聞は、図書館で閲覧できる。 また、図書館のデータベースで記事検索もできるので、活用すること。		
キーワード/Key word	環境基本法, 環境基準, ドイツの環境事情, ネパールの環境事情, 長崎県の環境課題		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	参考書1: 谷村賢治・齋藤 寛編著「環境知を育む」税務経理協会 参考書2: 及川 紀久雄・北野 大共著「人間・環境・安全 暮らしの安全科学」共立出版		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.	定員を80名までとします。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks(URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	他の班のプレゼンテーションにおいても、積極的に質問、意見を述べること。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	オリエンテーションとイントロダクション。授業内で演習プリント(日本の公害・長崎の公害)を課す。受講者自らが興味を持つ、環境問題を挙げる課題(事項と内容)プリントを課す。	A
第2回	環境法規(長崎県の環境基本計画を含む)とドイツの環境事情について、星野がプレゼンを行う。授業内で授業内容に関わる演習プリントを課す。ネパール国についての課題プリントを課す。	A
第3回	ゲストスピーカー(西九州大学 横尾美智代 教授)からネパールの環境事情について、講話を聞き、講話に関する小レポートをまとめる。	A
第4回	本授業で取り上げる6つのテーマを選定する。テーマごとに班を編成する。班ごとのプレゼンによる発表日を決める。星野がプレゼンの例を行う。	B
第5回	テーマ1,たとえば「地球温暖化」について1班全員が一人ずつプレゼンを行う。1班のプレゼン終了後、すべての班は、テーマ1について、小テスト問題(A4で1枚程度)を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお、テーマ1に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。	B
第6回	テーマ2,たとえば「生態系保護」について2班全員が一人ずつプレゼンを行う。2班のプレゼン終了後、すべての班は、テーマ2について、小テスト問題(A4で1枚程度)を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお、テーマ2に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。	B
第7回	テーマ3,たとえば「大気汚染」について3班全員が一人ずつプレゼンを行う。3班のプレゼン終了後、すべての班は、テーマ3について、小テスト問題(A4で1枚程度)を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお、テーマ3に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。	B
第8回	テーマ4,たとえば「水資源・水質汚濁」について4班全員が一人ずつプレゼンを行う。4班のプレゼン終了後、すべての班は、テーマ4について、小テスト問題(A4で1枚程度)を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお、テーマ4に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。	B
第9回	テーマ5,たとえば「エネルギー問題」について5班全員が一人ずつプレゼンを行う。5班のプレゼン終了後、すべての班は、テーマ5について、小テスト問題(A4で1枚程度)を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお、テーマ5に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。	B
第10回	テーマ6,たとえば「諸外国の環境事情」について6班全員が一人ずつプレゼンを行う。6班のプレゼン終了後、すべての班は、テーマ6について、小テスト問題(A4で1枚程度)を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお、テーマ6に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。	B
第11回	一人ひとりが地球規模の環境問題について調べ、知識を活用しながら説明・表現する。A4の資料2枚を作成する。	A
第12回	一人ひとりが地球規模の環境問題について調べ、知識を活用しながら説明・表現する。A4の資料2枚を作成する。	A
第13回	一人ひとりが九州地方などの環境問題や自然災害について調べ、知識を活用しながら説明・表現する。A4の資料2枚を作成する。	A
第14回	一人ひとりが九州地方などの環境問題や自然災害について調べ、知識を活用しながら説明・表現する。A4の資料2枚を作成する。	A
第15回	一人ひとりが公害・環境問題の認知に関して調べ、整理し、レポートを作成する。小テストも実施する。	A
第16回	定期試験	A